

学びをひろげる (第21回)

※ ○は、自分以外の参加した人の数です

まる (わたしと○人の会)

日時 2017年7月1日(土)(午後1時45分~5時)
場所 クレオ大阪東 研修室
大阪市城東区鳴野(しぎの)西 2-1-21 ☎06-6965-1200
参加費 500円(会場費・運営費等) ※学生は、無料です。



京橋駅 (JR線) 南口から南へ約600メートル
大阪ビジネスパーク駅(地下鉄長堀鶴見緑地線)
4番出口から東へ約700メートル
京橋駅 (京阪線) 中央口から南へ約850メートル

一人で拡がらない学びを○(まる)人が集まり、多様な人たち(年齢、国籍、職種など様々な人たち)との出会い・対話を通して自分の学びを拡げ、授業づくり・教材づくりをしませんか。もう一度、教育・授業のあり方をていねいに見つめ語り合しましょう。

前回 第20回の内容

ワークショップ“松井さんの美術の授業” 松井直哉さん提案(現在、東大阪市の小学校勤務)

◆松井さんは中学校で美術の教師をしていた時、1年生の初めての授業を「私なりの美術に対する考え方を披露する」ことからスタートされていたそうです。「私の美術に対する考え方の中核にあるのは、『絵なんか下手でもいい』ということだ」といわれます。「授業の基調」を次のように説明されました。(配布資料から)

絵をかくという行為は自己表現のひとつだと考えます。言葉での表現、表情での表現、体を使った表現などと基本的には変わらないと考えています。あたりまえのことですが、表現という行為は ①自分の思いがある ②伝えたい相手がある ③伝える手段を選ぶ ④その手段を上手に使いこなす という段階があると思います。

学校教育において、上手か下手かが価値観の大半を占める教育が行われ、子どもたちはその価値観にしばられ苦しんでいるのです。絵をかくという行為が表現である以上、①②がとても大切だ、というより前提なのです。自分の思いを明確にし、かつ伝えたいと思ったら子どもたちは③④の活動は放っておいても自ら体得しようと学習を進めると信じています。

◆松井さんの授業(ワークショップ)

自分の選んだリングを持っている参加者に、「リングを見て思ったことを、何でもいいから教えてください」ということからはじまりました。もちろん「予定調和」の進行とはならず、にぎやかにすすみます。いつの間にやら、参加者はみんな松井さんに乗せられたのか、あるいは、学びは自分が中心と思っている面々なので、自らの学びがはじまったように自分勝手に活動しています。松井さんのからだの動きもとてもしなやかに見えます。ワーク中の写真を見ていると、声は聞こえませんが、言葉が響き合っているのが分かります。

◆課題として ▼図工・美術の評価はどうするのか? ▼図工の授業を通して何を学ぶのか? の二つが残りました。最後にスタッフの山本さんが、今回は「松井さんの授業」という具体的なワークがあったので、それを通して様々な課題を考えることができた。これからも具体的な授業を通して、教科の世界についても考えて行きたい、とまとめました。



研究会のようす

今回 第21回は

ワークショップ“堀智晴さんの「道徳」の授業”

小学校・中学校でこれまで「道徳の時間」として行われていた道徳教育が、2018年度から(中学校は2019年度)「特別の教科 道徳」になります。検定の教科書が配布され、評価も求められます。今回は実際に「道徳教科書の教材」を使って、参加者で授業に取り組んでみたいと思います。授業者は堀智晴さんです。楽しみですね! どうなることやら!

堀さんからの伝言一前回は、松井さんに中学での美術の時間を思い出して、授業をしていただきました。今回は、道徳の教科化が始まるので、堀が、道徳の授業を参加者を生徒に見立てて実施させていただきます。昨年、堀が参観した5年生の道徳と同じ教材を使って行います。おたのしみに。— みなさん、いっしょに学びましょう、にぎやかに!!

「学びをひろげる」スタッフ 堀 智晴、松森 俊尚、山本 卓雄、松井 直哉

連絡先 松森 (☎090・1960・3469 ☒gakimon57tm@ezweb.ne.jp ☒matumori@crux.ocn.ne.jp)

山本 (☒yamamoto5.cham@gmail.com) 堀 (☒hori720@hotmail.com)

★次回第22回研究会は、2017年9月2日(土)午後1時45分~5時 クレオ大阪東 にて★